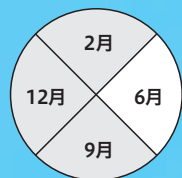


今回の定例会は



# ロクマル

市議会だよりさいたま | No.79 2019.8.1

ロクマル = 60 60人の議員は市民の代表。さいたま市議会の動きをコンパクトに伝えます。

[www.city.saitama.jp/gikai/index.html](http://www.city.saitama.jp/gikai/index.html)



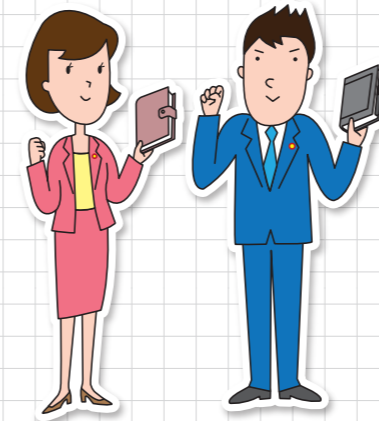
住みやすいまちをつくります！  
**新人議員の奮闘日記！！**

新人議員の日記から  
議会の流れや活動をご紹介します。

令和元年!! 住みやすいまちをつくります!

# さいたま市議会 新人議員の奮闘日記!!

さいたま市議会では年に4回(2,6,9,12月)定例会を開催しています。  
今回は新人議員の日記から、議会の流れや活動をご紹介します。



さい川 花子 たま山 太郎

## 予算

- ・〇×小学校ブロック塀修繕費
- ・消防車両の購入費
- ・福祉施設への補助費 など

## まちづくり

- ・公園施設の利用料金に関する条例の制定について
- ・〇〇用地の取得について など

〇月×日(△)

## 委員会

総合政策、文教、**市民生活**、保健福祉、**まちづくり**、**予算** *私はココ!*

付託された議案や請願を  
委員会で審査。

審査の経過と結果を  
委員長が本会議で報告。

〇月×日(△)

## 本会議 (いよいよ最終日!!)

各議案や請願について多数決による採決の  
議会としての意思を決定!

・その後の事業の進捗にも注視!

〇月×日(△)

## 視察

委員会で決めた  
今年の調査研究テーマは、  
「〇〇〇と〇〇制度について」

先進事例を持つ、〇〇市と△△市を  
視察。さいたま市での導入可能性、  
課題などを委員会で議論。

〇月×日(△)

## 本会議 (初日)

今日から定例会がスタート!!  
早速市長から議案の説明を受ける。

明日は議案に対する質疑。  
その後はより深い議論を行うため、  
委員会に付託される。

「議案に対する質疑」を行う場合は要旨をあらかじめ通告

|       |      |     |
|-------|------|-----|
| 10:00 | 開会   | 本会議 |
| 12:00 | 休憩   |     |
| 13:00 | 再開   |     |
| 15:00 | 散会   |     |
| 15:30 | 資料確認 |     |
| 19:00 | 帰宅   |     |

| 日 | 月 | 火 | 水   | 木 | 金   | 土 |
|---|---|---|-----|---|-----|---|
| ≡ | ≡ | ≡ | ★開会 | ≡ | ≡   | ≡ |
| ≡ | ≡ | ≡ | 本会議 | ≡ | ≡   | ≡ |
| ≡ | ≡ | ≡ | 本会議 | ≡ | ≡   | ≡ |
| ≡ | ≡ | ≡ | 委員会 | ≡ | 委員会 | ≡ |
| ≡ | ≡ | ≡ | ≡   | ≡ | 本会議 | ≡ |
| ≡ | ≡ | ≡ | ≡   | ≡ | ★閉会 | ≡ |

〇月×日(△)

## 本会議 (3日目)

はじめての一般質問!! (ドキドキ)  
前から気になっていた  
地域の課題について市長に質問する!  
限られた質問時間のしっかり準備。

## 資料提示するもの

- ・現場写真
- ・市民の声
- ・統計グラフ など

## 地域の課題

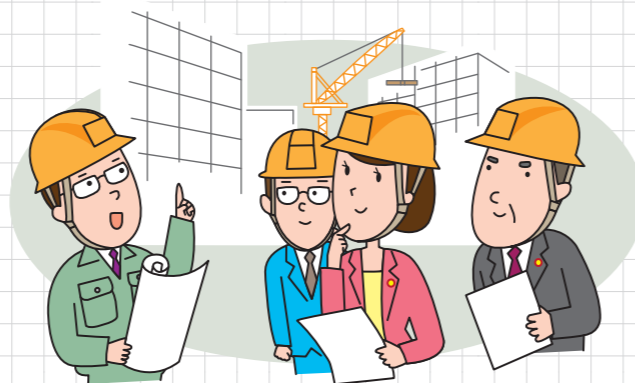
- ・〇×道路の交差点改良
- ・待機児童の解消
- ・災害時の避難計画



議会として  
市政への監視機能などを  
強化しつつ、私たち議員は  
市民の意見を的確に把握し、  
しっかりと市政に  
反映させていく使命を  
担っているんだ。

次は9月定例会。  
決算審査があるから  
会期はもっと長くなる。  
一緒にがんばろう!

先輩議員から



議案第78号 令和元年度さいたま市一般会計補正予算(第2号) ほか1議案

## 一般会計補正予算議案を可決

健康・福祉、教育、交通の充実などを含む総額11億8,437万円の補正予算議案が可決されました。

### <主な事業>

- 老人福祉センター「東楽園」の再整備  
…1,953万円(継続費総額4,297万円)
- 風しんの追加的対策のための抗体検査・予防接種の実施  
…5億8,923万円
- スクールロイヤーを活用した法律相談などの実施  
…270万円
- 長距離バスターミナルにおけるバス駐車場の先行的な  
供用開始  
…470万円



議案第89号 さいたま市さいたま新都心バスターミナル条例の制定について

## さいたま新都心バスターミナルを新設

市民の利便性の向上および交通結節機能の強化のため、大宮区北袋町1丁目にバスターミナルを来年6月に設置するための条例案が可決されました。同施設には、バスターミナルのほか、一般車駐車場(56台分)およびバス駐車場(15台分)が設置される予定で、本年10月からバス駐車場が先行して供用開始されます。



さいたま新都心バスターミナル(イメージ図)

議案第111号 副市長の選任について

## 副市長を選任する議案に同意

松本勝正副市長の退任に伴い、副市長に阪口進一氏を選任する人事議案が同意されました。

6月定例会で審議された議案 ▶ 市長提出議案36件



# 議員のQ&A 市のA

6月定例会「代表質問・一般質問」ダイジェスト

## 代表質問

3党派3人の議員が、市政に対する代表質問を行いました。質問の一部をご紹介します。

質問者

高野秀樹／桶本大輔／高子景

### 民主改革

踏み間違い衝突防止装置  
交通事故防止のため助成を

Q

高齢者の事故が社会問題化しており、特にペダルの踏み間違いが重大事故の原因となっている。衝突防止装置の取り付けに対し助成をすることはどうか。

A

運転誤操作による交通事故を防止するため、運転に不安を感じる高齢者の方に免許の自主返納を呼びかけているが、身体的状況や地域の実

誰もが安心して生活できるように  
交通事故を防ぐための対策が急がれる



### 自由民主党

順天堂大学病院の誘致  
市も主体的な取り組みを

Q

順天堂大学病院の誘致について、これまでの検討状況や進捗状況は。市もこれまで以上に主体的・積極的に大学側と協議していくべきと考えるが、見解を伺う。

A

現在、基本設計の発注に向け、順天堂大学内で調整中と伺っている。また、本年4月には大学関係者による予定地などの視察があり、市職員も立ち会った。病院整備が円滑に進むよう、窓口を一本化して庁内横断的に取り組む体制を整えており、今後も県と情報共有を図りながら、一日も早い実現に向け取り組んでいきたい。

地下鉄7号線の延伸  
実現に向けた進捗状況は

Q

浦和レッズによりアクセス改善などのため地下鉄7号線延伸や駅設置を要望

情などにより車が日常の生活に欠かせない状況もある。そのため、セーフティ・サポートカーや車に後付けできる踏み間違い衝突防止装置の普及は交通事故防止に有効であり、今後、周知を図るとともに、助成については検討していきたい。

Q

子どもの発達段階に合わせ  
\*義務教育学校を創設しては

学校教育法が改正され、義務教育学校が設置できるようになった。子どもの成長に合わない現状の6・3制を改善するためにも、義務教育学校を早期に創設しては。

A

義務教育学校設置は、教育の継続性の確保、特色ある教育課程の編成、施設の利便性向上など、本市小・中一貫教育のさらなる充実や、保護者・子どもたちに対し多様な選択肢の提供につながると認識している。今年度新たに、設置を検討するプロジェクトを立ち上げ、本市らしい義務教育学校の在り方や設置場所の考え方について検討を進めている。

\* 義務教育学校  
小学校から中学校までの義務教育を一貫して行う学校で、9年間の教育課程において「4-3-2」や「5-4」などの柔軟な学年段階の区切りを設定することなども可能となっている。

する署名活動が開始された。市はこの思いをどう受け止め、延伸実現を進めていくのか。

**A**

今年度から実務関係者会議に既設線沿線である川口市も参加し、引き続き協議を行っている。浦和レッズの署名活動についても認識しており、延伸が市全体にとって有益な事業であると周知されることは大変重要と捉えている。今後、鉄道とまちづくりの両輪の施策に全力で取り組み、一日も早い鉄道事業者による事業着手を目指していく。

### 自民党真政

市街化調整区域における持続可能な地域づくりを

**Q**

\*エスディジェズ  
SDGsの観点からも、市街化調整区域の住民を置き去りにしない、持続可能性を高める地域づくりが必要と考えるが、市の見解を伺う。

**A**

市街化調整区域では、農地の保全・活用とともに、地域の特性に応じた住環

境の整備に取り組みこととしていく。都市計画の手法の一つに集落地区計画という制度があり、空き家の建て替えが可能となるなど、住民の流動性の確保につながるかと考える。計画を定めるには基本方針の策定などの要件があるため、関係機関と協議を行い、持続可能な市街化調整区域の在り方を検討していく。

加田屋自然公園の整備  
検討体制の見直しが必要

**Q**

15年以上も事業が進まない現状の体制から刷新を図り、しかるべき部署を先頭に、部局横断的に施策を計画・進捗管理できる体制に改める必要があるのでは。

**A**

(仮称)加田屋自然環境公園については、土地利用規制などの法令上の課題を整理し、農業公園的な土地利用の整備手法を分析するため、保健福祉局、都市局および経済局で検討を行っている。今年度から政策・企画の部署も新たに追加、検討体制の強化を図り、多角的な視点から検討を進めていく。

## 一般質問

14人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。  
質問の一部をご紹介します。

質問者

竹腰 連／吉田 一郎／鳥羽 恵／  
西山幸代／島崎 豊／川村 準／  
照喜納弘志／武田和浩／新藤信夫／  
富田かおり／金子昭代／服部 剛／  
西沢鈴子／新井森夫

### 市の政策・行財政

災害時の乳幼児栄養支援  
液体ミルクを活用しては

**Q**

災害時に授乳中の母子を守るためには乳幼児栄養支援を充実させ、乳児用液体ミルクを災害備蓄品として積極的に導入・ストックしていくべきと考えるが、見解を伺う。

**A**

液体ミルクは製造工程で無菌状態にされており、開封後すぐに飲め、災害時



水や熱源は不要で、すぐ飲める液体ミルク  
災害備蓄品としての検討が望まれる

にも活用できる。省令が昨年改正され、国内での製造・販売が可能となった。現在販売されている製品は、備蓄品としては賞味期限が短いといった課題があるほか、防災倉庫内で年間を通じ保管が可能か確認の必要がある。今後、協定などによる民間企業からの調達などの手法を含め、導入について検討していく。

子どもたちの命を守るため  
防犯カメラの設置を

**Q**

川崎市の児童ら殺傷事件を踏まえ、通学路における防犯カメラの設置を進め

### \*SDGs(持続可能な開発目標)

2015年9月の国連サミットで採択。「貧困の根絶」「働きがい」「気候変動への対策」など、すべての先進国と発展途上国で取り組む、2030年を時限とした17の国際目標。

るべき。また、公園の安全対策として、自動販売機併設型の防犯カメラへの取り組みを伺う。

**A**

昨年度、教育委員会と学校、警察、道路管理者などが連携し、市内284力所で防犯に主眼を置いた合同点検を実施した。点検の結果、防犯カメラが必要な箇所については設置に向けた準備を進めている。

また、公園における自動販売機併設型防犯カメラについても、今年度は10台を目標に設置業者と調整を進めており、来年度以降も設置を進めていく。

**130万人の市民を守る  
今後の消防体制の充実を**

**Q**

成長著しい本市の130万市民の生命・身体・財産を守るため、次期消防力整備計画の策定に向け、消防署や車両の整備など、今後の消防体制をどのように考えているのか。

**A**

本市では、現行の消防力整備計画に基づき、4月に開署した見沼消防署や、来年度移転予定の岩槻消防署など、消防署所を順次整備してきた。

次期計画は令和3年度からの10年計画とし、消防車両などの見直しを図るとともに、特に救急車両について、出場件数や将来人口推計などに基づき、消防体制を構築していきたい。

**福祉・保健・医療**

**幼児教育・保育の無償化  
認可外施設も対象とするのか**

**Q**

認可外保育施設の中には、指導監督基準を満たさない企業主導型保育施設もある。こういった施設は無償化の対象外とすべきではないか。

**A**

認可外保育施設の無償化について、待機児童問題により認可外保育施設を利用せざるを得ない方がいることから、国では認可保育所と同様に保育の必要性が認められるすべての児童を無償化の対象としている。本市も国の考えに基づき実施していくが、市が施設への立入調査などの指導監督を充実させることで、児童の安全な保育環境の確保に努めていく。

**学習支援事業の業者選定  
一般競争入札は適切なのか**

**Q**

厚生労働省から示されている、事業の質の維持や継続性などの観点から、総合的評価ではない価格のみでの一般競争入札による選定は不適切だったのではないか。

**A**

学習支援事業は、全国的に実績ある事業者が増加していることから、広く公募することも検討に加え、国の通知にも注意した結果、人口20万人以上の自治体での実績を要件とした。さらに、学習環境面でのサポート体制や相談支援、レクリエーションの実施なども盛り込み、一定の質を確保できる状況を設定のうえ、一般競争入札としたものである。

**教育・文化**

**誰もが安心して学べるよう  
給付型奨学金の創設を**

**Q**

20政令指定都市中13市で実施している給付型

の奨学金制度を創設しては。また、本市の奨学金貸付基準を緩和し、抜本的に対象者を増やすべきと考えるが、市の見解は。

**A**

給付型奨学金の創設は、安定的な財源確保や対象人数が限定されることなど様々な課題がある。こうした点も踏まえ、本市奨学金貸付制度に新たに返還免除制度を創設し、返還に係る負担軽減を図ってきたい。また、同貸付制度における所得基準の緩和については、対象者が増えた場合に貸付額の減少につながる恐れもあることから、現行の基準を維持していきたい。

経済的負担を気にすることなく  
いきいきと学べる環境づくりを



## チャレンジスクール推進事業 一般競争入札とした理由は

**Q** チャレンジスクールの委託先が一般競争入札で選定されていること、委託業者が自社の塾教材を提供していることを疑問に思うが、入札方法の見直しを含め見解を伺う。

**A** 委託事業者の選定は、契約における公平性を高めるため、全国で充実した放課後子供教室が実施されはじめ、運営のノウハウを持つ事業者が複数出てきたこと、また、プログラムのマンネリ化とボランティア不足という課題解決のため、一般競争入札へ変更した。教材については強制ではなく、ニーズに合わせて扱っている。様々な業者選定方法があり、今後も十分に検討していく。

## 文化芸術都市づくり 拠点整備の要望書とは

**Q** 市長マニフェストにも掲げているように文化芸術都市創造に向けた拠点整備が必要である。今年3月、美術

協会からも要望書が提出されたと聞いているがその内容は、

**A** 市美術家協会などの連名で提出された要望書の内容は、市民会館おみやの跡地を最適地として、「地域振興による各種文化芸術発展の拠点」などの役割を担う新美術館建設を求めるものである。現在、文化芸術都市創造に向けた拠点機能の在り方を含めた各文化施設の再分類について検討しており、その検討内容を次期計画に生かしていきたい。

## 「まちピアノ」を設置し 文化芸術を身近な環境に

**Q** 文化芸術活動の促進により地域の活性化を図るため、中央区のアートフェスティバル、さいたま国際芸術祭を機会に、「まちピアノ」を設置してはどうか。

**A** 「まちピアノ」の設置は、身近な場所で気軽に文化芸術に触れられる環境づくりとして有効な取り組みであり、アートフェスティバルなどの多くの人が集まる機会に実施する

ことは効果的と考える。一方で、実施するには、事故防止のための安全管理や音響による周辺環境への配慮、費用面などの課題が想定されることから、今後、他都市の事例も参考に研究していきたい。

## 大宮西高から大宮国際へ 伝統の継承と交流拡大を

**Q** 大宮西高等学校では、清掃活動などを通じて地域交流を深めてきた。この伝統を引き継ぐとともに、国内外にも交流を広げてほしいが、どのような計画があるのか。

大宮西高等学校から大宮国際中等教育学校へ様々な伝統が受け継がれていく

**A** 大宮国際中等教育学校では、\*国際バカロレアのプログラムの一つである、奉仕の心を育む活動を、地域や大学、企業と連携しながら推進し、大宮西高等学校が行ってきた地域の防災訓練や清掃ボランティアへの参加なども積極的に継承していく。また、ピッツバーク市を訪問し、様々な大学と連携したフィールドワークを予定しているほか、グアムとの交流にも参画するなど、交流の幅を広げていく計画である。

## 学校に置いて帰る学習用具 児童が選択できる環境を

**Q** 小学生のランドセルや手荷物が重すぎる。児童の健康と成長、安全面を第一に考え、子ども自身が持ち帰る教科書などを判断できるよう方向性を定めるべきでは。

**A** 児童の携行品については、昨年、市立小・中学校に適切な配慮をするよう指示しており、各学校において担任が声かけなどを行っている。置いて帰っても良いものリスト



### \* 国際バカロレア

国際バカロレア機構が提供する教育プログラム。  
→くわしくは裏表紙「ロクマルキーワード」をご覧ください。

の活用など、各学校の取り組みを校長会などで情報共有するほか、保護者や児童が持ち物について見通しを持てるよう、学習用具の使用計画を保護者に示すなど、よりきめ細かな配慮をするよう指導していく。

**体育館へのエアコン設置  
具体的な計画は**

**Q** 猛暑で熱中症事故が相次ぐ中、市立小・中学校の体育館へのエアコン設置は、

災害時の避難所強化の観点からも早期に実現を図るべきと考えるが、市の見解を伺う。

**A** 小・中学校体育館へのエアコン設置は、熱中

症予防や教育環境の改善、さらには災害時の避難所機能としても有益と認識しており、今年度は今後の整備手法やスケジュール、概算事業費などを検討していく。また、体育館へのエアコン設置は財政負担が大きいため、国の補助制度を最大限活用するなど、財政措置を国へ要望するとともに、設置に向けた検討を進めていく。

**経済・産業**

**遊休農地に花を咲かせ  
多くの市民の憩いの場に**

**Q** 遊休農地対策として、子どもたちや地域の方々がコスモスや菜の花の種をまき、その花の美しさで多くの市民を喜ばせている。こういった活動の支援をしてはどうか。

**A** 遊休農地対策として、現在、農地利用最適化

推進委員による現地調査が行われており、課題などのご意見を伺っている。菜の花やコスモス

昨年に開催されたコスモス祭り  
(写真は岩槻区・鹿室地区)



を活用した取り組みについて、今後も進めていただくことはもちろん、使われなくなった農地を借りたい方にうまくつなげていくことなども含めて様々な努力が必要であり、市として農業委員会に協力していきたい。

**まちづくり・環境**

**中浦和駅周辺のまちづくり  
将来に向けビジョン策定を**

**Q** 市街化調整区域である中浦和駅北口周辺のまちづくりについて、将来に向けた整備手法や要件は。また、中浦和駅周辺のグランドビジョンを策定してはどうか。

**A** 中浦和駅には鴻沼川が

近接し、沿川が市街化調整区域であるため、まちづくりに課題が多い。市街化区域への編入要件を総合的に勘案しながら検討すべき問題と考える。まちづくりにには様々な手法があるが、まずは地域の方々の合意形成が重要と考える。計画の策定に関する要望書もいただい

おり、まちづくりの方向性や方針などの取りまとめに向け、地域の方々と研究していきたい。

**校区内の危険な交差点  
安全対策の徹底を**

**Q** 大谷場高木線の校区役所東側交差点や、町谷

本太線の西堀氷川トンネル西側交差点など、危険な道路箇所について、今後の対応を伺う。

**A** 大谷場高木線の交差点

については、供用後の交通状況の変化を踏まえ、交通管理者へ押ボタン信号の設置について協議を行うとともに、カラー舗装などの安全対策を進めていく。町谷本太線の交差点についても、利用状況を踏まえ、歩行者の横断を促す指導線の設置やカラー舗装などを行った。今後も、必要な対策について交通管理者と協議していきたい。

**A1を活用した  
新交通システムの導入を**

**Q** 高齢者や障がい者などの移動手段を確保する



には、現状の取り組みに加えて、A1(人工知能)を活用した新しい交通システムを導入すべきと考えるが、市の見解は。

**A** A1を活用した交通システムは、国内でも社会実験や商用提供が始まっており、先行事例を参考に検討していきたい。また、本市を含む県内6市1町で、\*MaaS<sup>マース</sup>などを社会インフラとするまちづくりの検討を目的とした協議会を設立した。この協議会で研究を進め、広域ネットワークにおける新たなモビリティサービスを導入し、誰もが自由に移動できる社会の実現を目指していく。

**誰でも快適に利用できる公園トイレを望む**

**Q** 公園のトイレが汚いという声もあるが、維持管理状況は。また、東大宮中央公園、砂中央公園は和式便器しか設置されておらず、早期の洋式化を望むが今後の計画は。

**A** 公園のトイレは、週6回、水洗いや拭き掃除による清掃業務を行っており、

月1回の公園点検時にその状況確認などを行っている。本年3月に、和式便器しか設置されていない公園のトイレを対象とした「公園トイレリフレッシュ計画」を策定したところであり、東大宮中央公園は今年度、砂中央公園は令和3年度に洋式化を進める予定である。

**七里コミュニティセンター早期に設備の改修を**

**Q** 七里コミュニティセンターのトイレは和式であり、老朽化も進んでいる。早期に洋式トイレに改修してほしい。併せて、照明のLED化も望むが、市の見解は。

**A** 同施設は、七里図書館との複合施設となっており、多くの方にご利用いただいている。開館から約20年が経過し、施設の老朽化や設備の不具合が生じていることから、中規模修繕工事を予定しており、今年度は実施設計業務を行う。内容としては、施設機能回復を目的とした、建具の改修、空調設備の更新、照明のLED化、

トイレの洋式化、消防・防災設備の改修などを想定している。

**変わりゆく大宮駅周辺都市計画の見直しが必要**

**Q** 大宮駅周辺区域では再開発事業などが実施されており、今後大宮駅グランドセントラルステーション構想の推進が予定されている。中心市街地や周辺部の都市計画を見直す必要があるのでは。

**A** 大宮駅周辺は、国が策定した首都圏広域地方計画において、東日本の玄関口と位置付けられたほか、平成29年には駅周辺約130haが都市再生緊急整備地域の指定を受け、都市計画上の規制緩和などを含め、当該地区が持つ高いポテンシャルを一層生かしていくべきエリアと指定された。各プロジェクトの状況に応じて、スピード感を持った都市計画の見直しを進めていきたい。

**食品ロス削減への取り組みが強化のチャンス**

**Q** これまでも、\*フードドライブの実施などを提案・推進してきたが、食品ロス削減推進法が成立し、社会的関心が高まっている今、本市としての取り組みを改めて伺う。

**A** フードドライブ事業としては、地域ポイントと連携した本市独自の「フードシェア・マイレージ」を浦和美園地区で昨年からは開始し、今年は岩槻区内にも拡大していくほか、公共施設への常設回収拠点の設置に向けた準備を進めている。また、啓発動画などによる「日曜日は食べつくスープ!」の呼びかけ、体験型イベントの開催など、市民・事業者との連携により事業を推進し、食品ロス削減の取り組みを全国に発信していきたい。

「余った食材はスープにして食べつくそう」  
食品ロス削減プロジェクトとして発信



\* フードドライブ  
家庭で余った食品を回収し、フードバンクなどを通じて福祉施設などに寄付する活動。

\* MaaS(Mobility as a Service)  
ICTを活用して交通をクラウド化し、マイカー以外のすべての交通手段によるモビリティ(移動)を1つのサービスとして捉え、シームレスにつなぐ新たな移動の概念。

# 特別委員会の紹介

特定の問題について、調査・審査を行うため、6月1日発行のロクマルNo.78で紹介した2つの特別委員会（政治倫理、大都市行財政将来ビジョン）に加えて、新たに5つの特別委員会を設置しました。



## 議会改革推進

- ◎新藤信夫 出雲圭子
- 神田義行 鳥羽 恵
- 川村 準 稲川智美
- 都築龍太 小川寿士
- 三神尊志
- 小森谷 優
- 帆足和之
- 松下壮一



## オリンピック・パラリンピック 競技大会支援

- ◎高野秀樹 金井康博
- 土橋勇司 西沢鈴子
- 照喜納弘志 富田かおり
- 玉井哲夫 浜口健司
- 桶本大輔
- 久保美樹
- 中島隆一
- 添野ふみ子



## 地下鉄7号線延伸事業

- ◎江原大輔 谷中信人
- 吉田一志 松村敏夫
- 新井森夫 青羽健仁
- 松本 翔 阪本克己
- 野口吉明
- 中島隆一
- 高野秀樹
- 神崎 功



## 大宮駅グランドセントラル ステーション化構想

- ◎上三信彰 佐伯加寿美
- 高子 景 齊藤健一
- 川崎照正 吉田一郎
- 服部 剛 伊藤 仕
- 傳田ひろみ
- 西山幸代
- 鳥海敏行
- 中山欽哉



## 決算

- ◎野口吉明 出雲圭子
- 吉田一志 伊藤 仕
- 石関洋臣 稲川智美
- 川崎照正 富田かおり
- 服部 剛 金子昭代
- 新井森夫 青羽健仁
- 松本 翔 傳田ひろみ
- 西山幸代
- 阪本克己
- 鶴崎敏康
- 小森谷 優
- 上三信彰
- 神田義行

### さいたま市議会からの

## お知らせ



### ◎ 議員の表彰

永年にわたり、市政発展に尽くされた功績に対し、全国・埼玉県の各市議会議長会より次の議員が表彰されました。

- 🏆 25年表彰 中山 欽哉 議員
- 🏆 20年表彰 神崎 功 議員  
萩原 章弘 議員  
中島 隆一 議員
- 🏆 15年表彰 高野 秀樹 議員
- 🏆 10年表彰 吉田 一郎 議員

### ◎ 2つの議員連盟を設立

同じ活動目的を持つ議員で構成する議員連盟を次のとおり設立しました。今後、様々な活動に取り組んでいきます。

- スポーツ振興議員連盟  
目的：生涯スポーツの振興やスポーツを活用した総合的なまちづくりの促進
- 文化・国際議員連盟  
目的：芸術・文化の振興や姉妹友好都市などとの友好親善と国際化の推進

ロクマル キーワード  
**Keyword**

6月定例会の中から気になる言葉を取り上げ、解説します。



『国際バカロレア』

グローバル人材を育成する教育プログラム

国際バカロレアは、1960年代にスイスで開発された、国際バカロレア機構が提供する国際的な教育プログラムです。グローバル化に対応できるスキルを身につけた人材を育成するため、生徒の年齢に応じて、3～12歳、11～16歳、16～19歳の、それぞれを対象とする教育プログラムがあります。国際バカロレア資格は、国際的に通用する大学入学資格として、世界の多くの国々の大学において幅広く受け入れられています。

さいたま市から世界に飛躍する人材を育てる

国内において、国際バカロレアの認定を受けている学校は令和元年5月時点で72校あり、今年4月に開校した「さいたま市立大宮国際中等教育学校」でも、国際バカロレアの認定に向け様々な準備を進めています。大宮国際中等教育学校では、6年間を通して「生涯にわたって自ら学び続ける力」や「自分の頭で考え抜き、新しい価値を生み出す力」など、国際的な視野に立って多様性を理解して探究し続ける「真の学力」を育てていきます。

※バカロレアの語源 ラテン語 baccalauri(月桂樹の実の意)

編集後記

議会広報編集委員会

まだまだ暑い日が続いていますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。今号の表紙では「夏」らしく、沼影市民プールの様子を描きました。さいたま市営のプールでは最も古く、昭和46年に完成して以降多くの市民に利用されており、今年も賑わいを見せています。

さて、市議会ではもう間もなく9月定例会が始まります。9月といえば決算。次年度の予算編成にもつながる大事な議案です。集中的に審査を行いますので、ぜひご注目ください。

- 〔委員長〕 渋谷佳孝   〔副委員長〕 高柳俊哉  
〔委員〕 土橋勇司   照喜納弘志   竹腰 連  
          金井康博   佐伯加寿美   江原大輔  
          富田かおり   小川寿士   小森谷 優

さいたま Diary ダイアリー

沼影市民プール

今日もセミが元気に鳴いています。こんな暑い日にはやっぱりプール！人気のウォータースライダーや流れるプールはたくさんの人で賑わっています。今年の夏も良い思い出ができました。

アクセス 武蔵浦和駅より徒歩約10分

今号の表紙の場所は 南区

次の定例会は

9月4日～

会期日程は、ホームページをご覧ください。くわしくは議事課(Tel.829-1753)までお問い合わせください。

傍聴

本会議は当日の受付で傍聴できます。開催当日、議会棟3階の議場ロビーまでお越しください。



インターネット中継

会議の様様をライブ配信(生中継)・録画配信しています。ホームページからアクセスしてください。

スマートフォン・タブレットでも!



テレビ番組

毎定例会後、広報番組「ようこそさいたま市議会へ」をテレビ埼玉で放送しています。くわしい放送日時は秘書課(Tel.829-1748)までお問い合わせください。過去に放送した番組も市議会ホームページで配信しています。

